

PythonおよびREST APIを使用したセキュアアクセス宛先リストの管理

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[スクリプト](#)

[Errors](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

スポイラー（参照用に強調表示）

シスコでは、この開発設計を公式にサポートしていません。これは、APIがアプリケーションとどのようにインターフェイスするかを理解しやすくするための参照例としてのみ意図されています。ユーザは、この設計を教育目的でのみ使用し、実稼働レベルの実装の基盤として使用することはできません。この文書に記載されているコードの実行は、お客様の責任において行われるものとし、シスコはその使用から生じるいかなる問題に対しても責任を明示的に負いません。

シスコでは、この開発設計を公式にサポートしていません。これは、APIがアプリケーションとどのようにインターフェイスするかを理解しやすくするための参照例としてのみ意図されています。ユーザは、この設計を教育目的でのみ使用し、実稼働レベルの実装の基盤として使用することはできません。この文書に記載されているコードの実行は、お客様の責任において行われるものとし、シスコはその使用から生じるいかなる問題に対しても責任を明示的に負いません。

はじめに

このドキュメントでは、PythonおよびREST APIを使用して、宛先リストに対して可能なすべての操作を実行する方法について説明します。

前提条件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

1. Python
2. REST API
3. シスコセキュアアクセス

要件

次に進む前に、次の要件を満たす必要があります。

- Full Adminuserロールを持つCisco Secure Accessユーザアカウント。
- セキュアアクセスにサインインするためのCisco Security Cloudシングルサインオン (SCSO)アカウント。
- [セキュアアクセスAPIキーの作成](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- セキュアアクセスダッシュボード
- Python 3.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

エラー処理、トークンの有効性（3600秒）など、さまざまな側面を考慮して、このコードを記述する方法は複数あります。

スクリプトを実行する前に、次のPythonライブラリがインストールされていることを確認してください。

```
pip install requests pip install oauthlib pip install requests_oauthlib
```

スクリプト

このスクリプトでは、client_idとclient_secretを、それぞれAPI KeyとKey Secretに置き換えてください。

```
from oauthlib.oauth2 import BackendApplicationClient from oauthlib.oauth2 import TokenExpiredError from
```

出力：

このスクリプトの出力は次のようになります。

```
Token Already Generated? (Y/N) :: y Available operations: 1. Get Destination Lists 2. Get Destination L
```

このプログラムが正常に実行されると、最初にCookieに関する質問が表示されます。Cookie Already Generated? (Y/N)。この質問を行う理由は、一度クッキーが生成されてから3600秒（1時間）は有効であるため、複数回クッキーを生成しないようにするため

す。yまたはYを入力すると、新しいCookieは生成されません。ただし、nまたはNを入力すると、新しいcookieが生成され、同じディレクトリ/フォルダ内のローカルテキストファイルに保存されます。このファイルのCookieは、以降の要求で使用されます。

Errors

DestinationList IDの指定を必要とする操作に対して誤ったIDを入力すると、このエラーが発生する可能性があります。

```
{'message': 'no Route matched with those values'}
```

DestinationListの作成中に、255文字を超えるDestinationListの名前を指定すると、次のエラーが表示されます。

```
{'code': 400, 'code_text': 'Bad Request', 'error': 'invalid_request', 'message': {'name': {'code': 'str
```

また、『[セキュアアクセス開発者ユーザガイド](#)』を使用して、ポリシー、ローミングコンピュータ、レポートなどに関する情報を取得することもできます。

トラブルシューティング

Secure Access APIエンドポイントは、HTTP応答コードを使用して、API要求の成功または失敗を示します。一般に、2xxの範囲のコードは成功を示し、4xxの範囲のコードは提供された情報に起因するエラーを示し、5xxの範囲のコードはサーバエラーを示します。問題を解決するアプローチは、受信した応答コードによって異なります。

200	OK	Success. Everything worked as expected.
201	Created	New resource created.
202	Accepted	Success. Action is queued.
204	No Content	Success. Response with no message body.
400	Bad Request	Likely missing a required parameter or malformed JSON. The syntax of your query may need to be revised. Check for any spaces preceding, trailing, or in the domain name of the domain you are trying to query.
401	Unauthorized	The authorization header is missing or the key and secret pair is invalid. Ensure your API token is valid.
403	Forbidden	The client is unauthorized to access the content.
404	Not Found	The requested resource doesn't exist. Check the syntax of your query or ensure the IP and domain are valid.
409	Conflict	The client requests that the server create the resource, but the resource already exists in the collection.
429	Exceeded Limit	Too many requests received in a given amount of time. You may have exceeded the rate limits for your organization or package.
413	Content Too Large	The request payload is larger than the limits defined by the server.

REST API : 応答コード1

500	Internal Server Error	Something wrong with the server.
503	Service Unavailable	Server is unable to complete request.

REST API : 応答コード2

関連情報

- [Cisco Secure Access ユーザガイド](#)
- [シスコテクニカルサポートとダウンロード](#)
- [セキュアアクセスAPIキーの追加](#)

- [開発者ユーザガイド](#)
- [PythonでREST APIを使用するためのセキュアアクセスの設定](#)
- [cURLを使用した通知先リストの管理](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。